

ダム管理演習(H28年度)の実施概要

北上川ダム統合管理事務所では、5月27日にダム管理演習を実施しました。

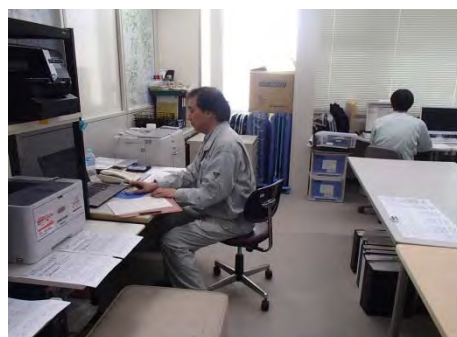
この演習は、所管している5つのダム(四十四田・御所・田瀬・湯田・胆沢)で、ダムの計画規模を超える異常洪水により、ダムが満水に達したことを想定し行ったものです。

ダム放流を行う際には、ダム下流の市町村や沿川住民、関係機関へ情報伝達を行っておりますが、本演習では、実際の洪水時の対応と同様にFAXなどを用いて通知等を行い、その手順などを確認しました。

ダム操作の判断や放流時の情報伝達の遅れは、ダム下流沿川に住む人や、釣り人など河川利用者に危険を及ぼすことになり、避けなければなりません。本演習での成果を実際の洪水時に生かし、混乱することなくスムーズな情報収集、情報伝達を行っていきます。



雨量・水位などの情報を収集し
操作等の判断を行う訓練



関係する警察・消防・県・市町村・
報道機関へ通知する訓練



河川利用者、沿川住民に注意喚起する
ための情報提供訓練



放流に向けたダム放流施設の
点検実施訓練



計算用コンピュータが使えなくなった事
を想定したダム操作訓練



各ダムの状況を報告し、ダム操作方針
等を調整する訓練

〈演習反省点〉

- ・掲示板は限られた大きさのため、表示する内容、文字数などより伝わりやすくする工夫が必要では無いか。
- ・ダム放流情報の伝達に、一部時間を要した所があった。

〈演習成果〉

- ・ダム放流時の通知について連絡先や手順を本格的な洪水期前に確認できた。
- ・ダム操作時の判断について、シミュレーションできた。